



2023年1月
第733号

日本基督教団 平塚教会
発行人 平塚教会
編集人 中山洋司
〒254-0045 平塚市見附町6-18
電話 〇四六三(32)八八三一



教会のなすべきこと

平塚教会牧師 北川一明

人がなすべき善を知りながら、それを行わないのは、その人にとって罪です。

(ヤコブ四・17)

TVで子どものためのホスピスが紹介されていました。子どもを小児癌でなくしたお父さんが運営しています。各所から寄付を募って立ち上げました。その後の維持費、人件費も社会の善意に頼ってどうにか続いています。見ていた妻が「教会でもこう、いうことが出来れば良いのにネ」と言いました。私は「平塚教会も、あなたの所(日本キリスト教団西東京教区聖書之友教会)も、今、やっているヨ」と答えました。「こういうこと」が何を指すかによります。

妻・金園播の任地である聖書之友教会は、現住陪餐会員が二人しかいません。新宿・高田馬場に近く、私鉄駅

から歩七分の立地に百坪の土地があります。私が明治学院に勤めていた時は『国際学生会館』に建て直すことを考え、不動産業者と相談しました。礼拝堂と食堂・集会室を共有スペースに、個室二〇〇三〇室の三階建て構想です。外国人留学生の他、明治学院、青山学院の地方出身クリスチャン学生を入れます。その他、立教大学、早稲田大学、学習院大学など終電を逃した学生は徒歩で帰宅できると思っていました。私の明治学院退任後、計画は無期限延期となりました。

最近、老朽化から教会と所有アパートの建て替えが必要ということになりました。資金がありません。建てないならば教会を解散しなければなりません。

人の目には、ずっと以前から解散は必定と思われる教会です。しかし不思議に助けられました。神学大学の学長が散歩で教会の前を通りがかり「看板に金園播先生の名前があった、その時、神はこの教会を潰さず建て直すご計画だと信じた」と、出席教会を聖書之友教会にかえてくださいました。学長が亡くなると、今度はそのご家族が礼拝に忠実に出席されるようになり、潰れそうで潰れません。

目次

教会のなすべきこと	牧師 北川一明 …1	【教会ニュース】 「おめでとうございます」	…4
元気です②	金子昭・叔子 …3	献金について	…4
		編集後祈	…4

十一月二七日には西東京教区総会后に妻の按手礼が行われました。本来なら挨拶に立つ教会員は高齢で無理でした。教区長から「お連れ合いが教職なら」と、私が挨拶することになりました。私は責任のない立場から気楽に国際学生会館構想の大風呂敷を広げました。すると按手礼式の後「経済面で協力したい」という牧師が出て来て励まされました。妻は「キタガワに挨拶させて、神がこの構想を進めようとしておられる」と言っていました。

子どもホスピスを立ち上げたお父さんのしたことを《志を立て、実現を期待し、とにかく動いてみた》と捉えるならば、聖書之友教会もやっています。

平塚教会には教会附属幼稚園があります。園児の保護者にキリスト教幼児教育を理解してもらうためにアトリエ・フタバ活動をはじめています。その中に Futaba Atelier International プログラムがあります。子育て中の外国人保護者を組織して、共助と文化交流ができるようにしようというものです。志を立て、実現を期待し、とにかく動き始めました。すると日本人保護者の中にも積極的な関心を寄せてくだ

さるかたが出てきました。

国際学生会館も外国人支援も、教会がどうしてもやらなくてはならないことではありません。教会のやるべきことは「公の礼拝を守り、福音を正しく宣べ伝へ、バプテスマと主の晩餐との聖礼典を執り行ひ、愛のわざに励みつつ、主の再び来りたまふを待ち望む(日本キリスト教団信仰告白)」ことだけです。教会のなすべき「愛の業に励むこと」は、「愛の業」でありさえすれば他のことでも構いません。

(ただ、たとえば政治活動などとすと、活動の結果、政敵と共に礼拝することができなくなることもあります。すると教会での礼拝が「公の礼拝」ではなくなります。敵と味方ができ易いことをするには信仰だけでは足りず、人間的な成熟が必要です。)

国際学生会館も外国人支援もうまくいくかどうか分かりません。何を志すにせよ、熱意と善意だけでは実現しません。もつとも、それを言えば子どもホスピスも最初はどうなるか分からなかったでしょう。「私は植エアポロは水を注いだ。しかし成長させてくださったのは神です(イコリント

三・六)」とある通り、うまく行くかどうかは「神のみこころ」次第です。

実現の見込が薄い事業に教会の全エネルギーを傾注しては、実現しなかった時に教会の信仰が萎える危険があります。その反面「人間にはできないことも、神にはできる(ルカー八・27)」という信仰に立つのが教会の業です。祈りのない新規事業は、事業としては成功しても、信仰は逆に萎えてしまうということもあるかもしれません。

私たちは「老人は夢を見、若者は幻(ピジョン)を見(ヨエル三・1)」つつ「蛇のように賢く、鳩のように素直(マタイ一〇・16)」に愛の業に励みたいものです。



クリスマスを待ち望む教会

元気です②

コロナに負けない教会員の皆様のお元氣な様子を紹介します。手記・インタビュー・お手紙ありのシリーズです。第二回目は金子昭・叔子夫妻です。

(編集子)

教会の皆様、金子昭・叔子です。まだ覚えていくくださると嬉しいです。年齢、健康のこともあり、この状況が落ち着くまでは、礼拝出席を控えています。礼拝、教会の様子は、オンライン礼拝、週報、月報などで拝見しております。中村寛志さんご夫妻が教会の帰りによく立ち寄ってください、資料を届けてくださったり、教会の様子をお話していただいております。ありがたいことです。ご夫妻との長いお交わりに感謝いたします。

昭の近況は、「論集」を作っていたことです。過去に、八月第一週の礼拝後に行っていた平和聖日の発題、「月報」、CS説教、クリスマス感話、西地区協議会で平和について語ったり書いたりしたもの

を一冊にまとめ、『ああ、幸いだ、平和を作る人たち―金子昭平和論集―』として、中村さんに印刷していただき、先生と平和を学ぶ会の方々に配布していただきました。かなり書き直しましたが、怠惰な私としてよい学び直しの機会となりました。

あとは家では、点字の歴史の勉強をしています。幸い仲間にも恵まれ、貴重な資料の提供を受けています。日本で最初の点字聖書「ヨハネ伝」(1894)の点字表記と、現行の表記を比較したりして、学んでいます。折りを見て研究会で発表したり、機関誌に寄稿したりしています。点字研究の分野でも会議や研究会はZoomで行われることが多くなりました。便利になりました。

あとは音楽です。今は先生に自宅に来ていただくピアノのレッスンを受けています。発表会では自作のピアノ曲を奏(ひ)いていたのですが、最近是人前で奏するのが難しくなり、自作を先生に奏してもらっています。去年は「今様(いまよう)の主題によるピアノのための変奏曲」という10分近くの曲を書いて、奏していただきました。1954年版讃美歌²⁴⁵番に「思い出(い)ずるも恥ずかしや」というのがあります。放蕩息子の歌なのですが、この旋律

が今様です。これをモチーフにして書いたものです。来年は「越天楽(えてんらく)」をモチーフにした曲を発表できるように、今作曲して先生に見てもらいながらまとめています。ピアノもぼつぼつ練習しています。以前に比べて、手の形など先生はあまり怒らなくなりました(上達したから?それとも先生が諦めたから?)。

叔子は、弱視者のために、活字の本を大きくして届ける拡大写本グループに属しています。以前は手書きだったのですが、今はパソコンでの作業になり、修正などが楽になりました。信仰五十年をお祝いしていただき、ありがとうございます。若い方々の熱心な信仰に学ばされるこのごろです。歳相応に、白内障の手術を受けています。若い頃の視力が回復するとよいと思います(記憶力まで回復して、とは言いませんが)。

二人のスケジュールは病院通いで埋まっています。行くなら、もっとハイカラなところ(どこ?)と聞かれても困りますが)はないものか、とは思いますが、そうもいかないようです。

このコロナの状況が改善して、皆様とお会いできる日を楽しみにしています。「ど

こかで見たような顔だななどと言わずに、お仲間に入れていただければ嬉しいです。



【教会ニュース】

おめでとうございませす

十一月二七日西東京教区で三名の方が按手礼を受け、二名が平塚教会関係者でした。主の恵みに感謝いたします。

◎金園播正教師…聖書之友教会牧師（北

川一明牧師婦人）

◎藤本百合子正教師…（旧姓高橋）日本基

督教団聖蹟桜ヶ丘教会牧師

◆献金について

今、旧統一教会への寄付を発端に国会審議が続いております。十二月役員会では、牧師より「献金について」の研修を受けました。教会員の皆様にも「献金について」御理解をしていただきたく、その概要をお

伝えします。

信徒献金には、

- ① 神に受け入れて頂ければ有り難いもの（自分の為でなく神の為に献げる）
 - ② 収入のあった時点で、その内の十分の一を取り分け（聖別）して献げる
 - ③ 他に感謝を表すために献げるのは本人の信仰にとって善いこと
 - ④ 献金先は祈って本人が決める
- という四つの原則があります。

「十分の一献金」とは、毎月の月定献金を収入の十分の一に決めて献金をするという事ではありません。教会には、月定献金以外にも様々な献金があります。また私達の中には、教会以外にも福祉団体やNPO法人、そして個人を手助けする等の目的で寄付を献げる人もおります。これらの寄付全てを含めて十分の一を献金しましょうという意味です。

それぞれの献金先と献金額は、祈って本人が決めることが原則ですから、どこが多い少ないなどの議論は、してはいけません。とかもありません。

しかし私達は、所属教会の財政に責任を負う者の一人として献金先を検討することとはとても大切です。特にコロナ禍以降、

教会の財政は厳しい状況です。最後に献金の種類をまとめましたので、今後のご参考にしてください。

【教会への献金の種類】

維持献金…教会財政を負う者として教会組織維持の為に献げる献金（月定）

感謝献金

- a 神への感謝を表したい時（自由に）
- b 遺贈
- c 予定外の収入があった場合

礼拝献金（席上献金）…礼拝出席に感謝

その他…自教会への献金

- a 信仰振起の為に教会が奨励する献金
- 祝節・誕生日・記念日献金 o.t.c
- b 教会が必要に応じて定めた献金
- 会堂建築・教会立伝道所維持献金

教会が仲介して捧げる献金

（例）引退教師を支える献金

用途指定献金

編集後祈

おとずれ発行の本日は、主の御降誕日そして本年最後の主日。戦いの灯が消えない人の世、平和の主イエス・キリストが今こそ…と祈る毎日です。

（編集子）